

感染症情報

8月19日～25日(第34週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★	↓	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★★	↑	増加傾向です
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★	→	食中毒もあります
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★★★	↓↓	減少傾向です
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★★	↓	発熱・発疹があります
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★	↑	
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★★		

大流行が続いていた「手足口病」ですが、お盆明け頃から急速に減少傾向です。何種類かの原因ウイルスがありそうで今年2回罹った人も多数みられました。昨今は1年中みられることが多いので、まだしばらくは注意が必要です。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は7月以降増加傾向でしたが第33週(先週)がピークだったようです。しかし広島県(呉市)ではまだ警報が続いており引き続き注意が必要です。

「マイコプラズマ肺炎」が8年ぶりに全国的に流行し始めています。長引く咳が特徴的です。重症化することは少なく特に年少の乳幼児では感染することは少ないと思われます。

「溶連菌感染症」はかなり少なくなりました。また「RSウイルス感染症」「インフルエンザ」は8月以降はみられていません。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある